

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種が情報共有を行いながら特性に応じた療育の提供をしています。	・子どもたちが興味のある動物や季節の行事など家庭では経験できないような事を取り入れる工夫や小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんとの交流などの取り組みを行っています。	・親子イベント(野外)などで自然に触れあう活動や協力して作り上げる活動などの経験を提供できるように考えています。
2	・環境にあった遊びや遊具の提供をしています。	・ある物を使って工夫しながら遊んだり、小学校に進学する為に机上課題(姿勢、眼球運動、板書)など実施。また必要な道具の提供も行っています。	・2~3ヶ月毎に1回、親子での活動ができる療育を開催しています。親子でのふれあいを提供しながら利用児の成長を感じてもらえる機会を作ります。
3	・保護者様の学び、意見交換の場の提供をしています。	・就学全前相談会(先輩ママの体験談)等聞きながら入学前準備の提供を行っています。	・保護者様の協力の元、子どもたちが1つになって活動ができるような取り組みを考えています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・小学校入学までの支援のみの提供しかできていません。	・就学・就労準備特化型の事業所運営のため、小学校入学までの支援となっています。	・系列事業所への促し等実施しています。
2	・大型遊具が無い為、揺れや登るといった活動に限りがあります。	・事業所、(ビル)の構造上利用できるものが限られてしまっています。	・大型遊具が無い分、あるものを上手く使って遊びを提供しています。
3	・施設がビル1階にある為、入口を出れば階段や大きな道路が目前にあり、危険な状況になっています。	・階段や道路、また、保護者様のお迎え場所になっています。	・施設の構造上変えることはできませんが、別の入り口へお迎え場所を変更すると共に、足形や止まれのマークをつけ子どもが危険を意識できるようにしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ

公表日 2026年3月2日

利用児童数 11名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	6	0	0	机やイスを並べると狭いように感じる。	特性により集中できない時などバーテンションで仕切るなど工夫をしています。入口が2か所ある事で送迎時の分散や注意喚起を行う事ができています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	2	実際療育の時間をずっとみているわけではないので何人いるかわからない。	個別では基本1:1、集団では職員2人体制で実施しています。対応が困難な時や複雑な活動時は控えの職員がサポートに入るように対応しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1	0	2	子供から特に何も聞いていないのでわかりません。	利用遊具やアイテムなどは、職員ルームに片付けて情報を制限をしています。遊具は子どもたちが探しやすい高さに設置し、バリアフリーなどの環境配慮も行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5	2	0	1		・天候により室内が暗く感じるときがあるのでカーテンを開けるなどの改善をしていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1	0	0		公表している支援プログラムに基づき、個別支援計画を作成し日々の支援を実施しています。保護者へは面談や連絡帳を通して支援内容を共有し、プログラムとの整合性を確認しながら支援の質向上に努めています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	2		アセスメントシートや発達状況の観察記録、保護者様面談を通してお子さまの状況やニーズを把握しています。その内容を基に職員間で検討会議を行い、客観的な視点を踏まえて個別支援計画を作成しています。作成後は保護者へ説明し、同意を得たうえで支援を実施しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	1	0	1		保護者のニーズや子どもの困り感にも着目し、ガイドラインにある「本人支援」「家族支援」「移行支援」から必要な支援を選んでいきます。計画書にはどのように支援していくのか具体的に記載しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		作成した児童発達支援計画に基づき、日々の支援を実施しています。支援内容は記録に残し、定期的に職員間で確認を行い、計画との整合性を図っています。モニタリング時には達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	1		子どもたちの好きなことや遊びを用いて、子どもたちが能動的に活動できるように支援しています。療育内容が固定化しないように職員間で話し合い、活動プログラムの見直しも定期的に実施しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	2		事業所内のプログラムでは、他園の子どもたちとの交流はありますが、保育所・幼稚園・地域との交流の機会は現在、行っておりません。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1	0	0		・職員全員が評価検証できるように、症例検討や研修を通して、評価方法を学ぶことができる機会を作っていきます。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	2		保護者面談や相談支援を通して家庭での関わり方について助言を行っています。また、必要に応じて家族支援の機会や情報提供を行い、家庭と連携した支援を心掛けています。今後も保護者同士が学び合える機会の充実を図っていきます。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	2	0	0		・職員全員が評価検証できるように、症例検討や研修を通して、評価方法を学ぶことができる機会を作っていきます。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	2	0	0	保護者様から要望があった際は、担当職員、または児童発達支援管理責任者が相談時間を作り対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	2	0	0	子どもの気持ちや行動の背景を理解するよう努め、受容的・共感的な関わりを大切にしています。職員間で支援の振り返りを行い、関わり方の質の向上に努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	1	2	就学前の相談会や保護者様参加のイベント、ペアレントトレーニングを実施しています。きょうだい参加をしていただいているイベントもあります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	2	支援時間やご利用日以外にも相談する時間を設けていただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	2	0	0	保護者様には書面での情報共有をしています。支援ではホワイトボードやカードを利用し視覚サポートをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	2	0	2	活動概要はInstagramを通じて行っています。予定等の連絡事項は文書で一人ひとりに伝達しています。自己評価の結果はホームページで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	2	鍵付きの書庫に入れて管理しています。個人情報の取り扱いについてのルールを作り共有しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	2	1	1	事業所では、感染マニュアル、防災マニュアル、重要事項説明書をいつでも閲覧していただけるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	1	3	年3回の避難訓練（地震・火災・防犯）を実施し、報告書を掲示しています。BCPの机上訓練も実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	2	安全確保するための計画を作成しています。契約時に説明するようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	2	0	3	契約時に頂いている緊急連絡先へ速やかに連絡し、状況と対応の説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	3	0	0	個々の発達段階に合わせた課題、友達と協力して取り組む課題などを取り入れ支援を行っています。その中でたくさんの「できた」を実感することで自信を持って様々な事にチャレンジしていくことができるよう支援を行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	2	0	0	今後も一人ひとりの成長発達やご家庭の状況に寄り添いながら、質の高い支援の提供に努めてまいります。引き続きご意見を真摯に受け止め、より良い事業所運営を目指します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木					公表日	2026年3月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	集団療育では少し狭く感じるが、リスク管理を行いながら、環境設定を実施しています。特性により集中できない時など、状況に応じてパーテーションで仕切るなど工夫をしています。入口が2か所あることで送迎時の分散や注意喚起が可能となっています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		個別療育は1対1、集団療育は支援者2名体制にしています。問題が発生した際や複雑な活動時に控えの職員が補佐に入ってサポートしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	子どもたちが使う道具などは選びやすい高さに整理しています。また床面での活動は事故防止のため、体操マットを設置し対応しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	常時清掃を行い、多角的にチェックを行うようにしています。放課後デイサービス（中高生）と同じ療育室であるため、児童がワクワクする環境設定ではないですが、視覚情報を減らし、集中できる環境設定になるようにしています。	・天候により室内が暗く感じる時があるのでカーテンを開けるなどの改善をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		痲痺や問題発生時など、個室にて落ち着ける場所を確保しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		朝礼以外にもミーティングを行っており、職員間でPDCAサイクルを回して課題解決に取り組んでいます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		療育後のフィードバックを活用しながら、保護者の評価を聞き取り、全職員で共有し、ご意見、評価を真摯に受け止め業務改善を行っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝礼時、意見交換を行っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者による外部評価は実施しておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修や勉強会の案内が提示され、能動的に研修を受講できる環境です。	・会社の情報や動きを職員が共有できるようシステムを構築し改善しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			・法人HP内で事業所の支援プログラムを公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		情報を共有し、分析・考察を基に評価を行い計画書を作成している。	・職員全員が評価検証できるように、症例検討や研修を通して、評価方法を学ぶことができる機会を作っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員ミーティングで支援プログラムを作成しています。保護者送迎時にフィードバック伝達しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		気になる点や課題の洗い出しをミーティングで行ったうえで、モニタリングを実施しています。また、日々の支援での子どもの様子を共有しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		契約時にJSI-Rや聞き取りシートを導入し確認を行っています。	・職員全員が評価検証できるように、症例検討や研修を通して、評価方法を学ぶことができる機会を作っています。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		就学前準備特化型事業所として、就学に必要な経験の獲得を狙いとして支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		通常支援では、支援前に情報共有と活動プログラム内容の確認を行っています。イベントなどを企画する際は準備からチームで相談して進めています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		レベルの変更や支援内容の改善を行いながら、狙いを意識してプログラムが固定化しないようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動が難しい・苦手であると評価した活動は個別療育にてレベルや方法を変えて支援を行うようにしています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援の前後で情報や評価を共有し、職員間で連携することを心掛けています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		次の活動に繋がるよう、気付いたことや感じたことの共有を実施しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	共有ファイルにて記録に残し、検討・改善に繋げています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを実施しています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	検討会議事案が発生していないため参画していませんが、事案が発生した場合は管理者が参画しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		事業所として連携する体制を整えています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		園での様子は保護者様から聞き取っています。事業所での様子から評価を行い保護者様を通して、通所児への助言や取り組みを伝達しています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	事業所からのアプローチができていない為、相互関係までは確立できていませんが、確認を行い保護者様からの依頼があった場合は文書にて子ども様への支援内容等の情報共有を行っています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	2	3			
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	2	3			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	3		機会は少ないと思います。	今後検討し、必要であれば取り入れていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		スタッフ人員の確保や事業所の環境（スペース）が適切でないためできていません。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			通所受け入れの時やフィードバックの時に声掛けを行い情報共有を行っています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			管理者の指導のもと行っています。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		事業所の見学と契約時、ご利用者様の利用前に必ず説明を行っています。また、不明な点の問い合わせなどがあっても適宜迅速な回答を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		5領域を意識しての計画作成及び1年に2回のモニタリングの実施を行い、利用児様の変化や成長・困り感や将来像・主訴、ニーズを保護者様からヒアリングしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		担当職員が行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	家族参加イベントの実施（芋掘り）・卒業生を招いてのイベント（秋祭り）などを実施しました。	・きょうだい同志での交流する機会も、必要であれば今後検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		管理者が迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		来年度から連絡アプリ導入予定です。	定期的にホームページにて活動動画や写真をupしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付きの書庫に入れて管理しています。個人情報の取り扱いについてのルールを作り共有しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者様には書面での情報共有をしています。支援ではホワイトボードやカードを利用し視覚サポートをしています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	児童発達支援では安全面に配慮し、現在は実施できていません。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に訓練（避難訓練：火災、地震、不審者侵入）、感染症対応の実施訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に机上訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		情報シートや面談などで状況を確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	保護者様への聞き取りは行っていますが、医師への確認はできていないです。	・現在医師に指示を仰がないといけない対象児がない為実施していません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全管理を確認し、支援を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		連携が取れるよう配慮し情報共有を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		都度会議を設け検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修の実施と適切な対応を話し合い、検討しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	身体拘束研修を実施し、事前に職員共有していますが、児童発達支援計画への記載が不十分なところがあります。	・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、契約時に保護者様へ説明できるよう改善していきます。	